

奈良県立医科大学 新キャンパス整備基本計画書

2019年3月

目次

1. 新キャンパス整備基本計画策定の背景と目的.....	1
2. 新キャンパスの整備.....	2
(1) 基本的な考え方.....	2
(2) 新キャンパス計画.....	4
i. 計画策定に向けて.....	4
ii. ゾーニングの考え方・施設配置計画.....	5
3. 施設整備計画.....	6
(1) 計画対象施設.....	6
i. 計画敷地の概要.....	6
ii. 施設整備の対象施設.....	9
iii. 計画施設の規模.....	10
(2) 各施設の計画.....	11
i. 建築計画概要.....	11
ii. 構造計画概要.....	15
iii. 設備計画概要.....	16
iv. 外構計画概要.....	16
4. 今後のスケジュール案.....	17
5. 参考資料.....	18
・本計画策定検討の経緯.....	18

1. 新キャンパス整備基本計画策定の背景と目的

奈良県立医科大学の施設は、老朽化した建物が多く、加えて、学生の定員数の増加、大学機能の多様化による講座・領域数の増加などにより、施設が狭隘となっており、必要な諸室が不足してきている。また学生・教職員の安全性確保の観点から早急な対策を講じることが必要であることから教育・研究部門を新キャンパスへ移転するとともに、現キャンパス附属病院施設の充実を図ることとした。

そこで、奈良県立医科大学では、近年の大学を取り巻く環境や求められる役割の変化、ならびに超高齢社会を迎えたことによる附属病院に期待される多様なニーズに応えるべく、数十年先のあるべき姿を見定め、未来に向かっての着実な歩み、大きな飛躍を期する道標とするために、平成29年4月に「奈良県立医科大学の将来像」及び「奈良県立医科大学キャンパス整備イメージ」を策定し公表した。

「将来像」においては新キャンパスの整備を見据えた教育・研究・診療などのあり方を検討し、その理念や方針を取りまとめた。また、「奈良県立医科大学キャンパス整備イメージ」では、教育・研究部門を約1 km 南西に位置する新キャンパス（旧奈良県農業研究開発センター敷地）に移転し、移転後、現キャンパスで新A病棟ほか立体駐車場などの附属病院施設の整備を行うことを明らかにしている。

このような事情を背景として、新キャンパス用地への大学機能の移転に向けて新キャンパスにおける整備方針や整備内容を具現化するべく、動線、ゾーニング、インフラ、建物構成、必要諸室・機能等を「新キャンパス整備基本計画」としてとりまとめ、その後の基本設計・実施設計につなげていくことを目的とする。

2. 新キャンパスの整備

(1) 基本的な考え方

新キャンパスについては、平成 29 年に策定した「奈良県立医科大学の将来像～新たなキャンパスづくりに向けて～」を実現すべく、「奈良県立医科大学キャンパスマスタープラン」に基づいた計画とする。

「奈良県立医科大学の将来像～新たなキャンパスづくりに向けて～」より抜粋

【建学の精神】

『最高の医学と最善の医療をもって 地域の安心と社会の発展に貢献します』

【各分野の理念】

教育

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

研究

研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

診療

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

法人運営

最高の医学の追求、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

「奈良県立医科大学キャンパスマスタープラン」より抜粋

- 最高の医学を探究するキャンパス
 - ・「良き医療人育成プログラム」の実践のため、学習環境と教育環境の充実を図る
 - ・大学を挙げて取り組む重点研究や講座の枠組みを越えた横断的な研究の推進に対応する環境を整備
 - ・共同研究、臨床研究支援体制の充実等、研究推進体制の強化に対応した施設整備
- 奈良への愛着を感じるキャンパス
 - ・奈良県独自の特徴のある施設・環境整備を行い、地域への理解と愛着を育む
 - ・地域に開かれた交流施設・教育施設、地域への情報発信施設を整備
 - ・民間企業との共同研究施設の整備

これら建学の精神・理念から、本計画は以下の方針に基づき計画を策定する。

①良き医療人を育む充実した学習・教育環境の整備

- ・自発的かつ創造的な学習や研究ができる環境を整備し、良き医療人を育成する場の創造を目指します。
- ・専門分野以外への関心や異分野の人たちとの出会い、コミュニケーションを誘発するような仕掛けづくりや施設整備を目指すことで、多職種連携の基盤形成を促進し、学習・教育環境の充実を図ります。

②多様な活動・ふれあいの場となる共有空間の設置

- ・学生同士だけではなく、学生と教職員、学生と地域の人など様々な人たちとのコミュニケーションを誘発するような雰囲気、場所づくりを目指します。
- ・地域の人や学外者も気軽に利用できるスペースを整備し、積極的なコミュニケーションを行える空間づくりを目指します。

③機能的で利便性の高い研究推進体制の構築

- ・専門分野の研究だけではなく、学内横断的な研究や大学としての研究など、幅広い研究課題に対し柔軟に対応できるような施設整備を目指します。
- ・施設間の連携や協働を意識したゾーニングを計画し、フレキシブルかつ機能的な使い方ができる施設計画を目指します。

④奈良の歴史・風土を取り入れたキャンパス整備

- ・日本最初の本格的な都城である「藤原京」をモチーフに古都奈良に相応しいキャンパス整備を目指します。
- ・歴史的な街並みや景観を意識し、周辺地域と調和のとれたキャンパス整備を目指します。
- ・近傍にそびえる畝傍山などへの眺望確保に配慮し、歴史的景観の保全や活用を目指します。

(2) 新キャンパス計画

i. 計画策定に向けて

平成 25 年度（平成 26 年 1 月）より、奈良県知事、奈良県立医科大学理事長をはじめ、県と医大の双方から委員が参加する「医大の将来像策定会議」を中心として、奈良県立医科大学のU I（ユニバーシティ・アイデンティティ）の確立に取り組み、平成 29 年 4 月に「奈良県立医科大学の将来像」を取りまとめた。また、その一方で将来像の実現のために、現キャンパスから南西約 1 kmにある旧農業研究開発センター跡地に新キャンパスの教育・研究部門の移転と現キャンパスでの附属病院ほか関連施設の再整備に向けて、「キャンパスマスタープラン」のとりまとめを行った。

本計画は上記検討経緯に引き続き、県との調整を踏まえ、先行整備と継続整備によるⅡ期分割整備を行う計画としている。

先行整備では教養教育部門・看護学科ほか講堂や体育館、学生アメニティ施設を整備し、継続整備では研究施設や新キャンパスの管理を担う事務局棟、地域住民も利用できる交流施設を整備する計画としている。



整備イメージ

ii. ゾーニングの考え方・施設配置計画

本計画ではマスタープランに基づき、日本初の都城である「藤原京」をモチーフとした配置構成により、古都奈良にふさわしい景観を形成するようなゾーニング・施設配置を行う計画とする。

【ゾーニング】

敷地東側からのメインアクセスの入口付近には、地域の人と共同で使える交流ゾーンや地域の人や学生、教職員との交流を促す交流広場を配置し、計画敷地の奥にいくに従ってより高いセキュリティが求められる施設を配置する計画とする。

(交流ゾーン → 教育ゾーン → 研究ゾーン)

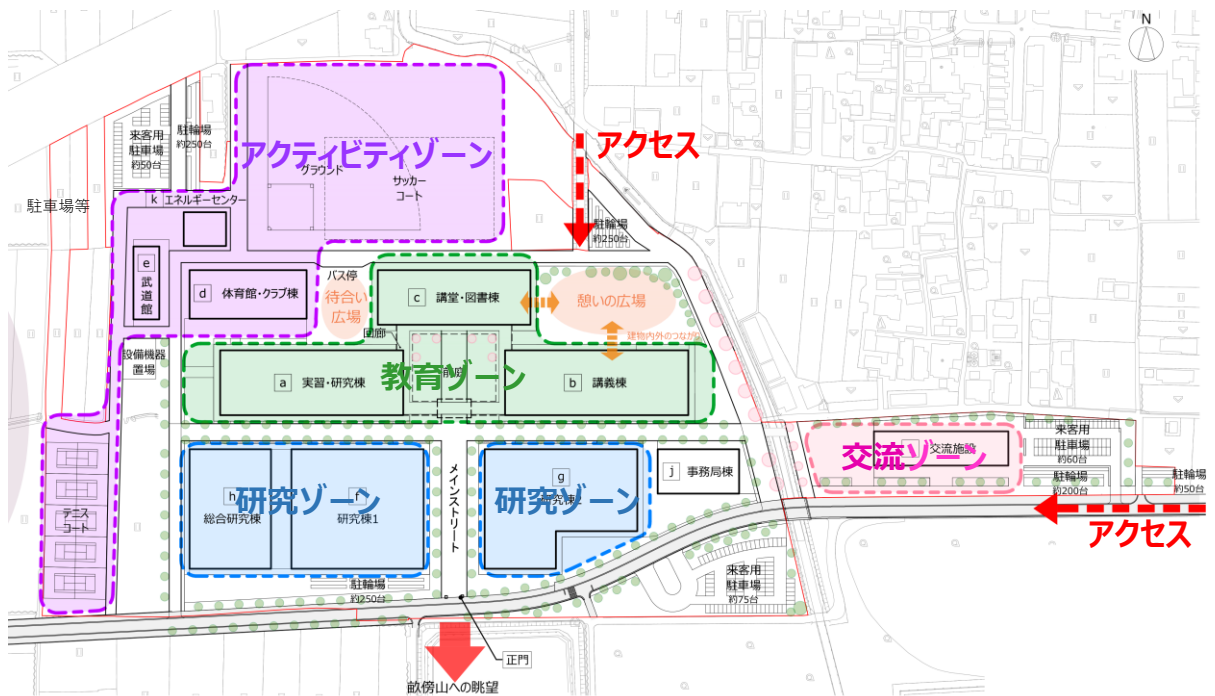
・ 4つのゾーンについて

本計画では大きく4ゾーンとして敷地を捉え、計画を進める。

①教育ゾーン	講堂や図書館などの開かれた施設、教養教育や看護教育施設を集約し、多様な教育により良き医療人を育む場
②研究ゾーン	学内での研究活動や学外との連携を含めた専門性の高い研究活動を推進する場
③アクティビティゾーン	体育館やグラウンド等の体育施設を集約した運動やクラブ活動の中心となる場
④交流ゾーン	地域の人を含め学内外の人が利用する地域交流の場

【施設配置】

歴史的な景観や畝傍山への眺望など歴史的な自然環境に配慮した配置計画とする。また先行整備だけではなく、継続整備まで含めたキャンパス全体の完成形を意識し、より機能的かつ魅力のあるキャンパス空間となるような計画とする。



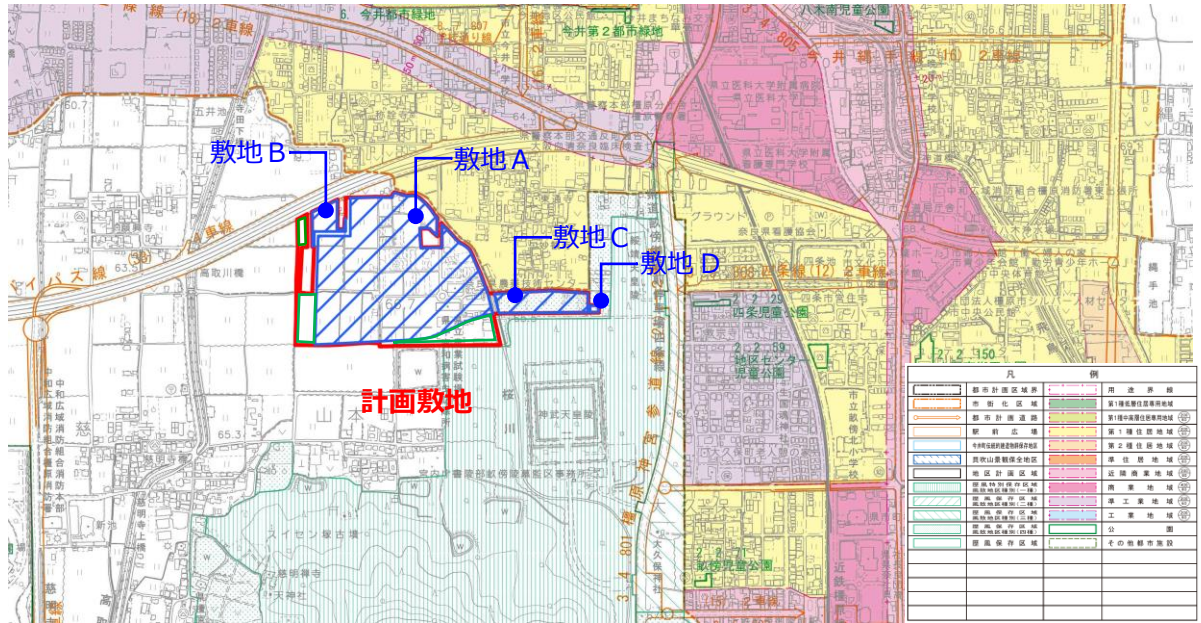
ゾーニング計画図

3. 施設整備計画

(1) 計画対象施設

i. 計画敷地の概要

① 用途地域



— 本計画の敷地範囲を示す — 建築する部分の敷地を示す
— 建物を建てない部分（駐車場等）を示す

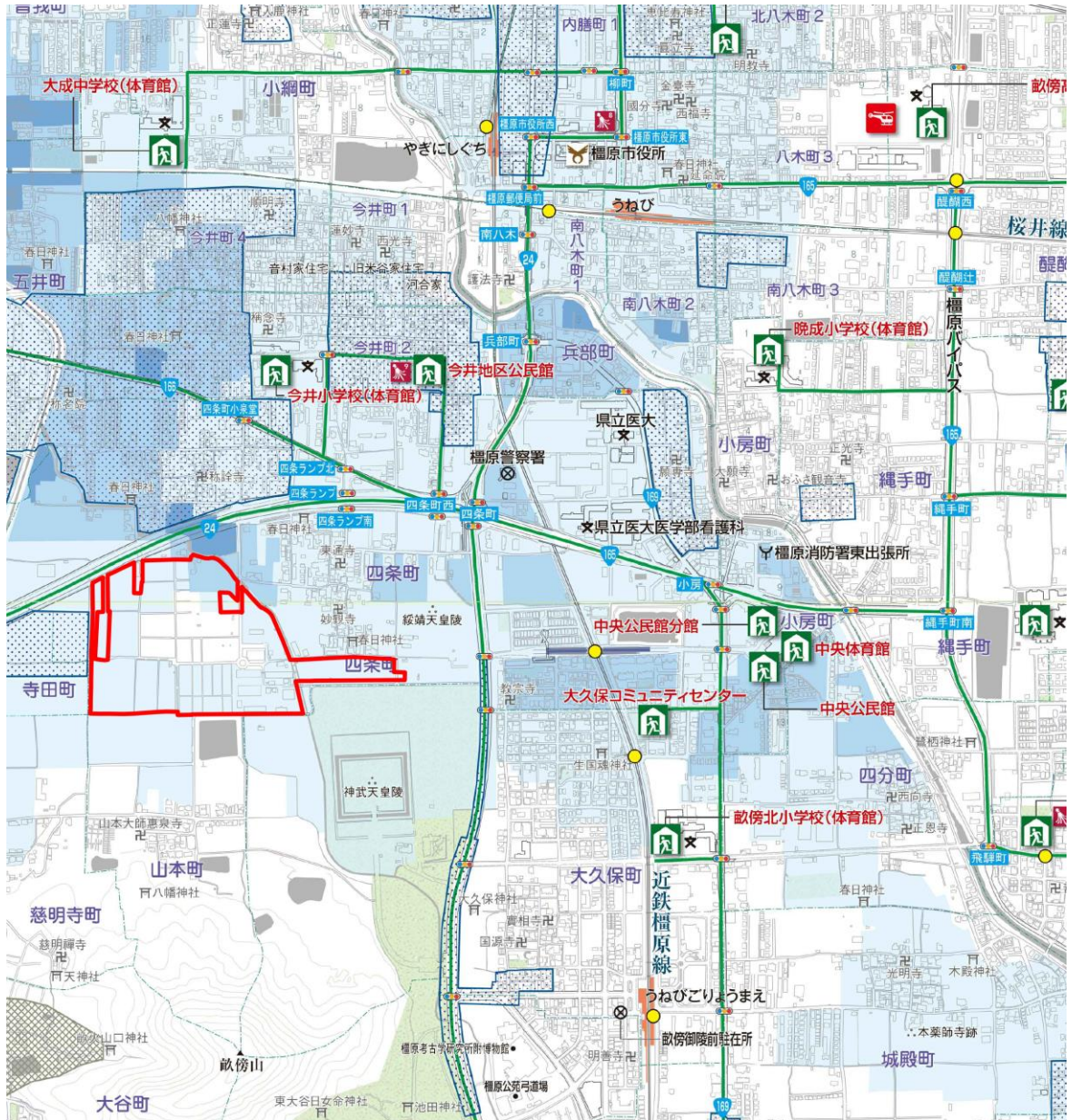
檀原市都市計画図より抜粋

建設地	敷地 A	敷地 B	敷地 C	敷地 D
	(桜川以西の地域)		(桜川以东の地域)	
敷地面積	約 93,500 m ²	約 3,500 m ²	約 9,500 m ²	約 300 m ²
用途地域	市街化調整区域			
指定建ぺい率	60%		40%	
指定容積率	100%		200%	
道路幅員	国道 24 号線：38m 慈明町 13 号線：14m		四条町 15 号線：4.5m 慈明町 13 号線：11.5m	
斜線制限	道路斜線 1:1.25、隣地斜線 20m + 1:1.25			
日影規制	指定なし			
絶対高さ	15m 以下（檀原市景観条例）		13m 以下（檀原市風致地区条例）	
壁面後退	指定なし		道路境界側：2.0m 隣地境界側：1.0m (檀原市風致地区条例)	
防火指定	法 22 条区域			
その他地域・地区	指定なし		歴風保存区域 畝傍山風致地区（ゾーン 3）	

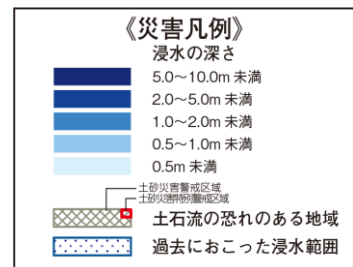
※上記敷地面積は CAD 上の計測によるものです

② ハザードマップ

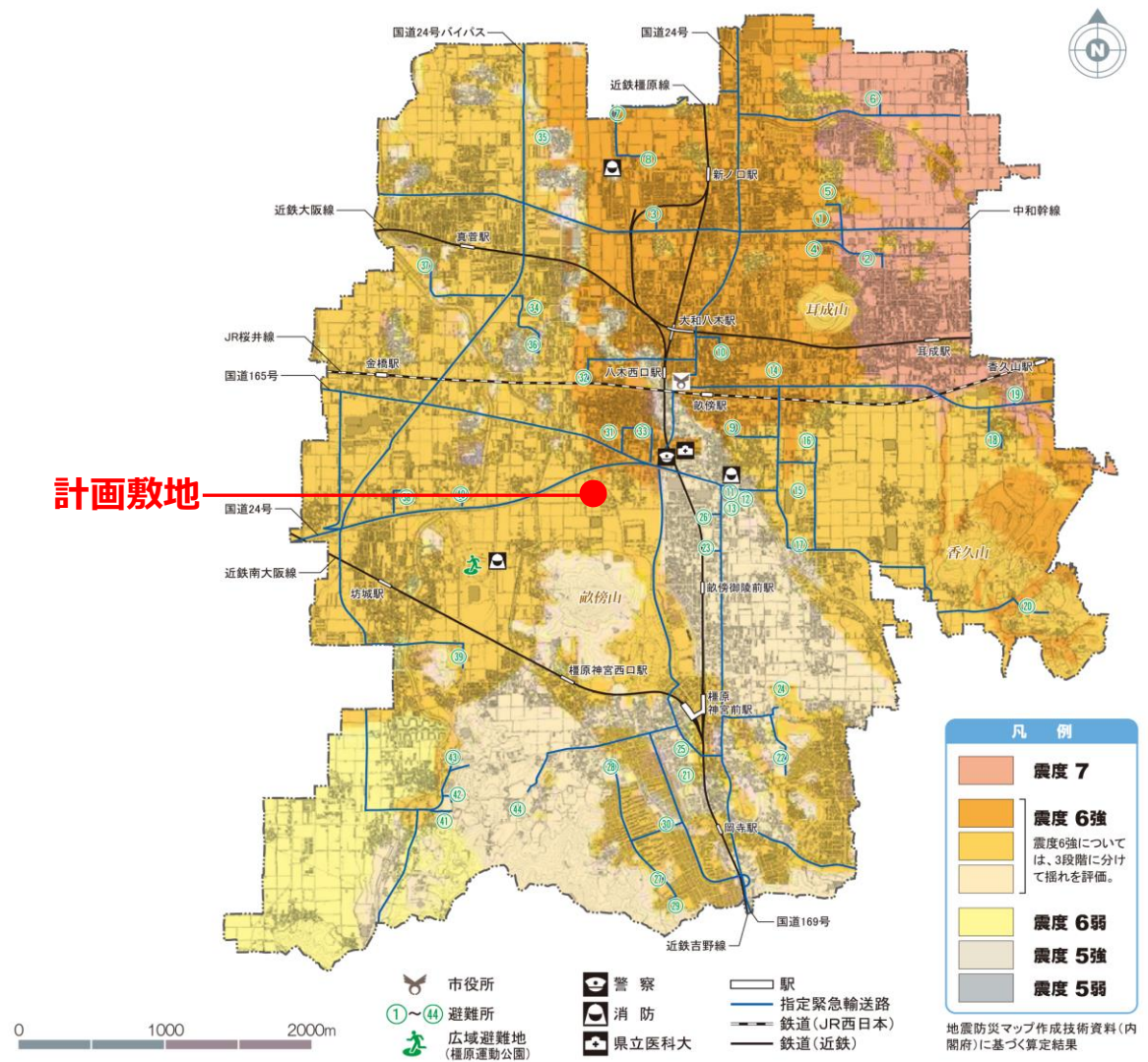
・浸水マップ



檜原市洪水ハザードマップより引用



・ゆれやすさマップ



橿原市総合防災マップ「奈良盆地東縁断層帯地震震度分布図」より引用

ii. 施設整備の対象施設

本計画は、先行整備と継続整備のII期分割整備とし、各々の整備対象施設は以下に示す通りとする。

【先行整備】

- ・ 実習・研究棟
- ・ 講義棟
- ・ 講堂・図書棟
- ・ 体育館・クラブ棟、武道館
- ・ 外構、運動施設（グラウンド、テニスコート）、駐車場、駐輪場

【継続整備】

- ・ 研究棟 1、2
- ・ 総合研究棟
- ・ 交流施設
- ・ 事務局棟
- ・ エネルギーセンター
- ・ 外構



建物配置計画案（先行整備時）

※図中の破線は継続整備施設を示す。

iii. 計画施設の規模

先行整備における各計画施設は以下の規模を見込むものとする。

棟番号	棟名称	面積	規模	備考
a	実習・研究棟	約 8,640 m ²	地上 3 階	
b	講義棟	約 8,580 m ²	地上 3 階	
c	講堂・図書棟	約 5,230 m ²	地上 3 階	
d	クラブ棟・体育館	約 2,620 m ²	地上 2 階	
e	武道館	約 740 m ²	地上 2 階	
合計		約 25,810 m ²		

※上表は学舎ほか主要施設の概要を示すものであり、回廊、駐輪場などについては適宜計画を行うものとする。

※上表以外の計画施設については、今後引き続き検討を行う。

(2) 各施設の計画

i. 建築計画概要

【平面計画】

< 講義棟 >

- ・ 医学生・看護学生の居場所を融合し、多職種連携の基盤形成を促進
- ・ 講義室の集約により、将来の変動（学生数など）に柔軟に対応
- ・ 学内と学外の交流

医学科及び看護学科の講義室群とレストラン・カフェ、売店、書店といった学生アメニティ施設を中心に計画する。

1階にアメニティ施設を計画することで、学生だけではなく地域の人利用にも配慮した施設構成とし、そこでのコミュニケーションを誘発するような仕掛けづくりを検討する。また講義室群の中にラーニングコモンズを設置することで、レクチャー型のラーニングスペースとアクティブ型のラーニングスペースを持つ学習・教育環境となり、多様な講義形態に対応できるスペースの構築を図る計画とする。

[必要諸室・機能など]

(1階) 医看合同講義室 多目的講義室（中・小） 情報処理 PC ルーム グループ学習室 視聴覚ホール レストラン・カフェ 学生ホール 売店・ブックストア スタッフ事務室 健康管理センター・職員厚生室	(2階) 医学科講義室 看護学科講義室 臨床手技トレーニング室 委託事業者事務室 ラーニングコモンズ 小ロッカー	(3階) 演習室 (共通) エントランスホール 交流スペース 廊下、階段、エレベータ 男女トイレ、多目的トイレ 倉庫
--	--	---

<実習・研究棟>

・専門的な研究・実習の場

教養教育施設、実習・実験関連諸室および研究室を中心とした施設として計画する。

実習室は前庭側に配置し、講義棟との動線や利便性に配慮した施設構成とする。また教員研究室群は建物西側および3階に配置することで、学内アクティビティの核となる前庭やメインストリートからの距離を確保し、落ち着いた環境となるよう配慮した計画方針とする。

[必要諸室・機能]

<p>(1階)</p> <p>研究室(教養)</p> <p>医学科実習室</p> <p>更衣室</p> <p>学生ホール</p> <p>非常勤講師控え室</p> <p>※看護協会</p> <p>事務室・ナースセンター</p> <p>会議室</p> <p>更衣室</p> <p>講師控え室</p> <p>研修室</p> <p>資料室、印刷室、倉庫</p>	<p>(2階)</p> <p>看護学科講義室(博士用含む)</p> <p>看護学科実習室(助産用含む)</p> <p>教授室、准教授・講師室</p> <p>修士室</p> <p>会議室</p> <p>ゼミ室・学生指導室</p> <p>器材室</p> <p>更衣室</p> <p>印刷室</p> <p>倉庫</p> <p>更衣室(教員)</p>	<p>(3階)</p> <p>教授室、准教授・講師室、助教室</p> <p>博士室</p> <p>学生指導室</p> <p>会議室</p> <p>(共通)</p> <p>エントランスホール、ホワイエ、交流スペース</p> <p>廊下、階段、エレベータ</p> <p>男女トイレ、多目的トイレ</p> <p>倉庫</p>
---	---	--

< 講堂・図書棟 >

講堂・図書棟については、情報を扱う施設として整備するとともに、講堂などを利用し、学外への情報発信の場としても機能するような計画とする。

[必要諸室・機能]

講堂	図書館	
講堂 控室 ホワイエ 倉庫	閲覧スペース 書庫 書架スペース 事務室 休憩・食事スペース 情報検索コーナー AV ブース 閲覧研究室 ブラウジングルーム	応接室 茶室 エントランスホール 廊下、階段、エレベータ 男女トイレ、多目的トイレ 湯沸室 倉庫 機械室

< 体育館・クラブ棟、武道館 >

体育館・クラブ棟、武道館については、学生及び教職員の活動施設として授業、課外活動での使用を想定して整備する。

[必要諸室・機能（体育館・クラブ棟）]

アリーナ 管理室 器具庫 部室 トレーニングジム	エントランスホール 廊下、階段、エレベータ 男女トイレ、多目的トイレ シャワー室 更衣室（男女）
--------------------------------------	--

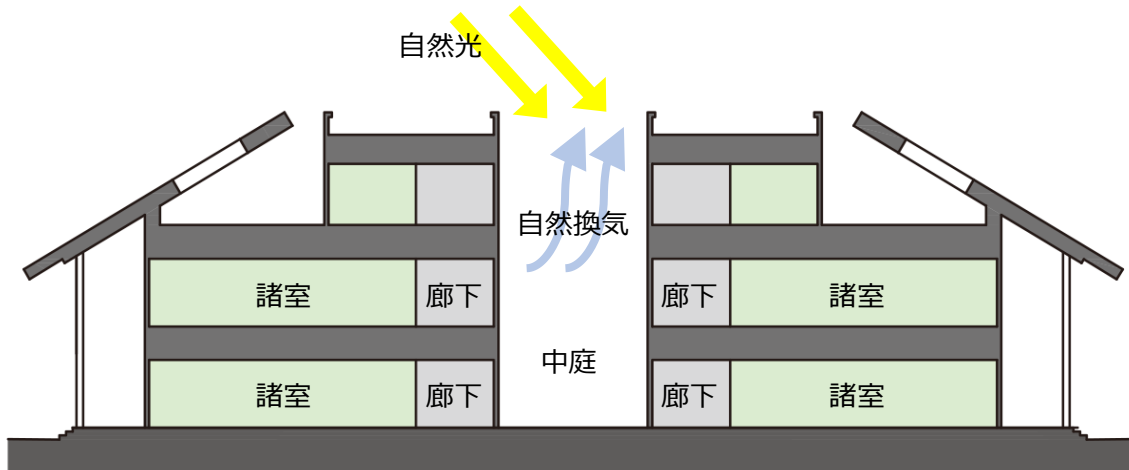
[必要諸室・機能（武道館）]

相撲場（稽古場） 畳道場、板間道場 部室 弓道場 男女トイレ 倉庫
--

【断面計画】

中庭を活用することで、自然採光を積極的に利用する断面計画とする。

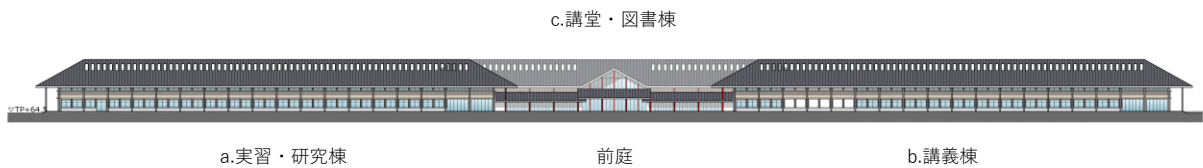
また中庭にメカニカルシャフトを設置することで、建物群が形成する景観に配慮した計画とする。



概念モデル

【立面計画】

日本最初の都城である藤原京をモチーフに、古都奈良に相応しい外観計画としつつ、周辺環境や畝傍山への眺望に配慮した景観計画とする。



全体イメージ

ii. 構造計画概要

本計画における各棟の構造については、以下の通りとする。

棟名称	a. 実習・研究棟	b. 講義棟	c. 講堂・図書棟	d. 体育館・クラブ棟	e. 武道場
構造	RC造	RC造	RC造、一部S造	S造	S造
規模	地上3階建て	地上3階建て	地上3階建て	地上2階建て	地上2階建て

[構造計画について]

本計画では、低層かつ建築面積が大きいという建物形状、学校という用途から、剛性が高く、防音・振動にも有利なRC造を主要構造とする。また内部空間のフレキシビリティや将来的なフレキシビリティを考え、ロングスパンとなる部分についてはPC梁等を利用し、専有部は極力無柱空間となるような計画とする。なお体育館・クラブ棟、武道館についてはアリーナ、武道場のスパン長、用途を鑑みS造とする。

構造形式については、建物形状、内部空間のフレキシビリティといった観点から、耐震構造形式（装置などを使わない一般的な構造形式）とする。

[基礎の計画について]

計画敷地近傍のボーリングデータより、GL^{※2}-23mを支持層と想定^{※3}し、場所打ちコンクリート杭（現場造成杭）として、計画している。

※2：造成による地盤面上昇は考慮していない。

※3：敷地内の地盤調査により、支持層や杭長・杭形式が変わる可能性がある。

[耐震性能について]

耐震性能については、学生や教職員の安全性を考え、官庁施設の総合耐震基準および建築構造設計指針（文科省）から重要度係数を1.25とし、耐震安全性の目標^{※1}は、構造体:II類、建築非構造部材:B類、建築設備:乙類とする。（※1：「国家機関の建築物及びその附帯施設の位置、規模及び構造に関する基準」（平成6年12月15日建設省告示第2379号、平成25年3月29日改正時点）による。）

iii. 設備計画概要

[インフラ計画について]

先行整備時には、電力は高圧引込とする。上下水道ガス設備に関しては継続整備後を見越した引込計画を構築する。

継続整備時にはエネルギーセンターを新設し、特高受変電設備、排水処理設備、構内の共同溝整備を行い、適宜盛替え等を行う計画とする。

[省エネルギーへの配慮について]

空調、照明計画については、自然エネルギーを有効活用し環境負荷の低減、省エネルギーを考慮した設備計画とする。

[ライフサイクルコストへの配慮について]

メンテナンスが容易な工法、耐久性に優れた材料の採用を積極的に行う計画とする。

学内の各設備システム・機器選定にあたっては、メンテナンス性や更新性を考慮した計画とする。

iv. 外構計画概要

外構計画については、学内のセキュリティに配慮しつつ地域に開放できるような設えとし、学生同士、学生と教職員、学生と地域の人など、多種多様なコミュニケーションを誘発する場として計画、整備する。参考案では、様々な人が広く使える憩いの広場や実習・研究棟、講義棟、講堂・図書棟を結び付け、行き交う学生同士のコミュニケーションの場となる前庭、地域イベントなどにも使える交流広場など、単に建物の外構として整備するのではなく、建物同士を結び付け、学内を行き交う人々のコミュニケーションの醸成に寄与するよう、奈良県植栽計画も勘案した外構計画とする。



先行整備時の外構イメージ
(参考案)

4. 今後のスケジュール案

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度以降	
各種調査	地盤調査	周辺影響調査	埋蔵文化財調査					▼新キャンパス 先行整備竣工	継続整備
地区計画	地区計画								
建築	基本計画		基本設計、実施設計、各種申請、工事						
開発 造成	造成計画	造成設計、開発協議・申請、工事							
	土壌汚染対策工事								

5. 参考資料

・ 本計画策定検討の経緯

年月	検討内容
H29.4	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良県立医科大学の将来像 策定 ● 奈良県立医科大学キャンパス整備イメージ 作成 (奈良県立医科大学施設整備基本構想、奈良県立医科大学キャンパスマスタープランとまとめ)
H29.5	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の進め方について説明 平成 29 年度第 1 回キャンパス整備検討 WG(5/18)
H29.6~10	<ul style="list-style-type: none"> ● 他大学施設の調査 (札幌医科大学・福島県立医科大学・横浜市立大学・名古屋市立大学・京都府立医科大学・大阪市立大学・和歌山県立医科大学・国際医療福祉大学・東北医科薬科大学) ● 他大学施設の調査状況報告 平成 29 年度第 2 回キャンパス整備検討 WG (9/1) ● 分野ごとの施設整備方針検討 拡大教務委員会 (10/5)、研究推進戦略本部 (9/21)、拡大総務経営会議 (9/20)
H30.2	<ul style="list-style-type: none"> ● (県) 奈良県立医科大学新キャンパスの整備方針について説明 キャンパス整備に関する説明会 (2/15)
H30.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の進め方について説明 平成 29 年度第 3 回キャンパス整備検討 WG(3/20)
H30.4~6	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行整備平面計画素案 作成 (各理事・各教育部長から意見聴取) ● 現キャンパスの患者用の仮設駐車場整備案及び継続整備までの現キャンパス活用案検討
H30.6	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行整備平面計画素案説明・検討 平成 30 年度第 1 回キャンパス整備検討 WG(6/11)
H30.7	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行整備平面計画素案の説明・意見聴取 基礎医学教育協議会(7/3)、教養教育部門教育協議会(7/10)、看護学教育協議会(7/13)、臨床医学教育協議会(7/17)、学生説明会(7/20)
H30.8 末~9 初	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生との協議 (体育会)
H30.10	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行整備平面計画修正案の作成・説明・意見聴取 平成 30 年度拡大総務経営会議・拡大教務委員会 (10/3)
H30.11	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行整備平面計画案の作成・説明・検討 平成 30 年度第 3 回キャンパス整備検討 WG (11/5)
H30.12	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本計画案の作成・説明・検討 平成 30 年度第 1 回キャンパス整備検討委員会・第 3 回キャンパス整備検討 WG 合同会議 (12/25)
H31.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良県立医科大学 新キャンパス整備基本計画 策定 役員会 (3/20)

奈良県立医科大学 新キャンパス整備基本計画書

発行 奈良県立医科大学キャンパス整備推進室
〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 TEL : 0744-22-3051

作成 奈良県立医科大学キャンパス整備推進室
明豊ファシリティワークス株式会社